

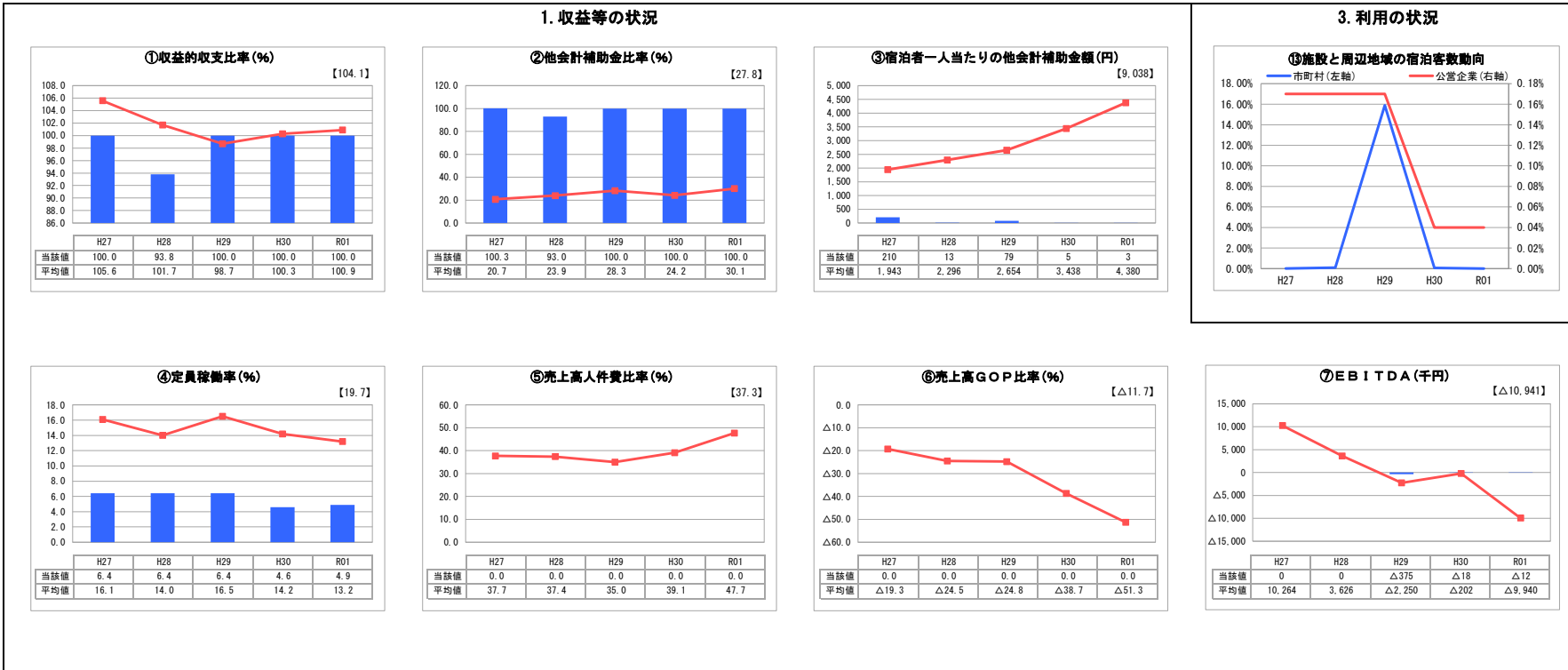
# 経営比較分析表（令和元年度決算）

群馬県南牧村 南牧村自然公園

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	2,009	203	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
2,393	利用料金制	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	5.3	有

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

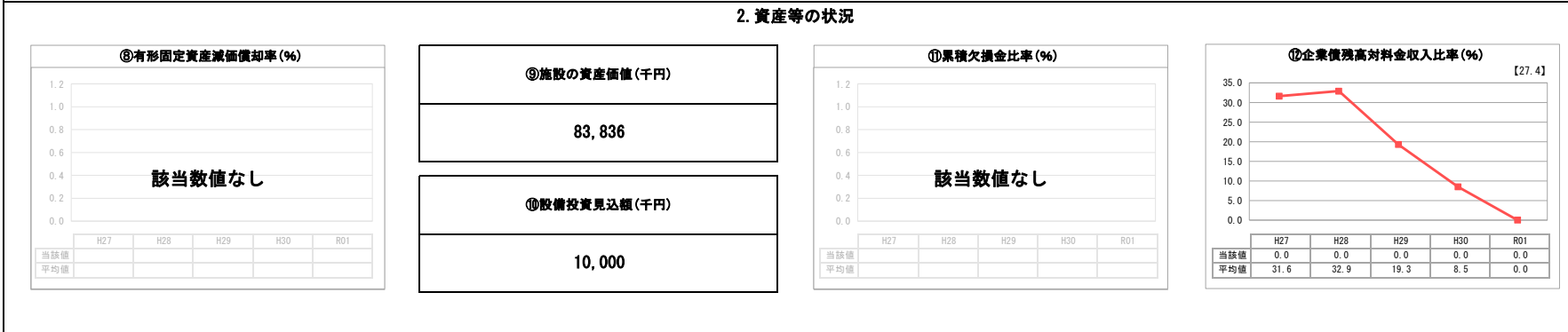


### 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 当該施設は、指定管理者制度を（利用料金制度）により運営を行っている。  
 ・収益の比率については、H28が低い値となっているが、観光施設であるがゆえに天候の状況が経営に大きく影響したものである。  
 ・他会計補助金比率については、指定管理者制度を導入しているため、経常費用は人件費と物件費のみであるが、運営委員報酬と施設の修繕費を一般会計より繰出ししているため、高い比率となってしまうが、補助金額は必要最小限としているため、宿泊者一人当たりの他会計補助金額は低い値である。

**2. 資産等の状況について**  
 年々資産の価値は減少してきている。老朽化も激しく設備投資を計画的に検討し、次年度以降から修繕・改修をしていく予定である。

**3. 利用の状況について**  
 村内の宿泊施設で最大の収容人数を確保しているため、利用はあるが、定員稼働率は冬期間閉鎖となることから低い状況である。また、利用の大半は夏季の短期に集中しているため、夏季以外の利用率を上げる必要がある。



### 全体総括

当該宿泊施設は、平成17年7月以降、指定管理者制度（利用料金制）を導入し、民間活用による運営を行っている。  
 今後、少子高齢化による利用客の減少や施設の老朽化に伴う維持費の増加を踏まえ、計画的な設備更新を検討しながら、引続き村の観光拠点として推進していく。